異分野技術の融合によるＣＮＦ社会実装促進事業

塾生募集

オープンイノベーション
ナノセルロース塾
第8期（2025 年度）

ナノセルロース塾は、多彩な講師による講義と異分野との
ネットワーク形成にて、新たな事業展開を支援しています。
第8期は平日開催も盛り込み、充実した内容で実施します。

期　間　2025 年 **6** 月～2026 年 **1** 月　（全 **7** 回　**土** 又は **金** 曜日開講）

受講方法　**会場**［京都大学宇治キャンパス／京都市産業技術研究所　ほか］又は **オンライン**（Zoom）

＊会場又はオンラインでの受講のいずれかを毎回選択できます。

定　員　**100** 名

受 講 料　**30,000** 円（税込・７回分一括）　＊申込受付後に振込先を連絡いたします。

ナノセルロースジャパン・一般会員は無料

＊講義資料は専用サイトにて配信（冊子印刷は行いません。）

申込期間　**随時受付中**

申込方法　下記 URL にて必要事項を記載のうえ、お申し込みください。
申 込 先：https://form.run/@HL6MpmcejFK34kqxV2Yk

＊各回、受講者を変更することは可能です。
＊申込みに当たっては、２ページ目に記載している備考もご確認ください。

主催：ナノセルロースジャパン
後援：プラスチック成形加工学会

“ナノセルロース塾” 開講宣言

（2018 年 6 月）

塾　長　京都大学客員教授　渡邉　政嘉
副塾長　京都大学特定准教授　吉田　朋央
顧　問　京都大学教授　矢野　浩之
（ナノセルロースジャパン技術・普及分科会長）

セルロースナノファイバー（CNF）に関わる研究開発活動は，国内外で盛んに進められています。激化する国際競争の中で我が国のCNF関連企業がフロントランナーとして主導的なポジションを獲得するためには，企業内部での自前開発だけに頼っているだけでは限界があり，戦略的に社内の強みを生かしながら，外部の資源を積極的に取り込む活動が必要不可欠となっています。

新たな市場を開拓するためには従来技術の延長線上の発想を超えて，異なる技術分野との融合によって生み出される新たな価値創造活動が原動力となります。

しかしながら，異なる技術や事業分野とのネットワーク形成は必ずしも簡単ではなく，困難を伴います。そこで新たにCNF関連企業がオープンイノベーション活動を円滑に進める場づくりとなる活動としてオープンイノベーション“ナノセルロース塾”を開講します。

具体的にはCNF以外の異分野技術に関する専門家を招聘し，異なる技術領域との融合や複合によりCNFの新たな活用に関するヒントを得るとともに，将来の共同研究開発等のシーズ開拓やマーケット開拓のヒントを得る場を設けます。

＊“ナノセルロース塾”は，CNF技術に関心を持ち新たな用途開発や市場開拓を検討している技術者，研究者，技術営業担当者，マーケッティングリサーチャー及びコンサルタントなどの方を対象とします。

講義内容

No	開　講　日 会場（予定）	講　師（プロフィールは後述参照/敬称略）	テーマ
1	6 月 21 日（土） 京都大学宇治キャンパス	渡邉　政嘉（塾長）京都大学客員教授 矢野　浩之　京都大学特任教授	オープンイノベーションの基礎/ＣＮＦ入門
2	7 月 19 日（土） 京都大学宇治キャンパス	山田　純市　経済産業省革新素材室長 河田　陽平　環境省資源循環ビジネス推進室長	CNF に関する政策動向
3	9 月 20 日（土） 京都市産業技術研究所	桑島修一郎（副塾長）京都大学特定教授 仙波　　健　（地独）京都市産業技術研究所	オープンイノベーション実践/CNF 材料の基礎
4	10 月 24 日（金）*1 京都大学宇治キャンパス	伊福　伸介　京都大学教授 岡久　陽子　京都工芸繊維大学准教授	CNC／バイオ系ナノ材料
5	11 月 21 日（金）*2 大阪大学吹田キャンパス	藤澤　秀次　東京大学准教授 古賀　大尚　大阪大学准教授	ＣＮＦの適用可能性
6	12 月 19 日（金） 京都市産業技術研究所	榊原　圭太　（国研）産業技術総合研究所 鬼頭　雅征　トヨタ紡織株式会社	ＣＮＦとものづくり
7	1 月 17 日（土） 京都大学宇治キャンパス	平野　貴章　富士市 CNF・産業戦略担当主幹 尾下　優子　東京大学未来ビジョン研究センター特任講師	ＣＮＦの社会実装と経済効果

●開講時間　13:30～17:20　毎回、ネットワーキングと講義を開催します。
●毎回、会場又はオンラインでの受講を選択することができます。受講生の交代も可能です。
●17:20 以降、会場にて交流会（実費負担：500 円程度）を予定しております。（第５回は別途予定）
＊１：第４回は、ナノセルロース塾第１～7 期受講者とのネットワークを広げるため、同窓会を同時開催します。
＊２：第５回は、一部内容を変更し大阪大学産業科学研究所との連携事業（研究室見学会）を予定しております。

＜備考＞
●受講者の交流が促進できるよう、ネットワーキングにおいて、自社アピールなど実施していただきます。
●現地参加の場合、交通費、宿泊費、交流会費等は受講者にてご負担ください。
●オンライン配信にて参加いただく環境は、受講者側でご準備ください。また、インターネット回線の通信状況等により、良好に聴講できない可能性がございます。
●新型コロナウイルスの感染拡大など、やむを得ず内容を変更する場合がございます。予めご了承ください。

講師紹介

（敬称略）

渡邉 政嘉

京都大学特任教授・学外連携フェロー（一財 高度技術社会推進協会・常務理事）。経産省産総研室長、紙業服飾品課長、産業技術政策課長、NEDO 理事、中小企業庁経営支援部長、経産省東北経済産業局長、内閣審議官を歴任し、令和 4 年 7 月退官。研究所経営（オープンイノベーションハブ戦略）に関する研究、セルロースナノファイバーの産業利用に関する研究等、多数実施。紙業服飾品課長時代に世界に先駆けナノセルロース社会実装に向けたナノセルロースフォーラムの設立をリード。受賞歴：型技術協会創立 30 周年「功労者賞」、日本機械学会フェロー、同会創立 120 周年記念功労者表彰など。博士（工学）

矢野 浩之

京都大学生存圏研究所特任教授。京都府立大学林学科助手、同講師、京都大学木質科学研究所助教授、生存圏研究所教授を経て 2024 年より現職。セルロースナノファイバー材料の開発によりセルロース学会林治助賞、日本木材学会賞を、パルプ直接混練法“京都プロセス”の開発により本田賞、TAPPI ナノテクノロジー部門賞、科学技術分野の文部科学大臣表彰をそれぞれ受賞。渡邉課長（当時）、磯貝教授と連携してナノセルロースフォーラムの設立、運営に貢献。ナノセルロースジャパン副会長。農学博士

山田 純市

経済産業省製造産業局素材産業課革新素材室長。2006 年 3 月 京都大学大学院農学研究科を卒業後、同年 4 月に経済産業省に入省。中小企業庁経営支援課や地域経済グループ地域企業高度化推進課にて地域産業の振興、経済産業政策局産業構造課にて日本の経済成長ビジョン等の検討、通商政策局アジア大洋州課や厚生労働省医政局医療国際展開推進室にて日本企業等の国際展開に従事。2019 年から 2024 年まで内閣官房国家安全保障局に出向し、経済安全保障政策の立ち上げや新たな国家安全保障戦略の策定等に従事。2024 年 7 月より現職に至る。

河田 陽平

2005 年 北海道大学大学院卒業後、自動車関連下請け会社へ入社し、その後自動車メーカーへ転職し、経営企画本部にて燃費戦略等を担当。2015 年 自動車メーカーから環境省へ社会人経験者採用枠にて入省。2017 年 地球環境局地球温暖化対策課地球温暖化対策事業室にて主にエネルギー特別会計予算事業を担当。2019 年 水・大気環境局自動車環境対策課にて自動車の環境政策を担当。2020 年 同課自動車環境戦略企画官。2024 年 資源循環ビジネス推進室長となり、各種リサイクル制度（自動車、家電、小型家電）や資源循環の拠点づくりを担当し、現在に至る。

桑島 修一郎

京都大学生存圏研究所生存圏未来開拓研究センター長。2000 年九州大学大学院理学研究科博士後期課程修了。京都大学大学院工学研究科科学技術振興助教、講師を経て、2009 年京都大学産官学連携センター准教授。2010 年より経済産業省産業技術環境局技術戦略政策官としてイノベーション政策に従事。2013 年から京都大学産官学連携本部特任教授として産官学連携支援を担当、2022 年 11 月より現職。研究・イノベーション学会理事。博士（理学）

仙波 健

京都市産業技術研究所産業支援センター研究主幹。1998 年京都市工業試験場（現、京都市産業技術研究所）入所。2007 年京都工芸繊維大学博士（学術）
専門　高分子複合材料・加工。CNF は、20 年にわたり京都大学矢野教授のご指導をいただいている。
活動　プラスチック成形加工学会理事、編集委員。SPE 日本支部理事。ナノ構造ポリマー研究協会理事　など
受賞　文部科学大臣賞、日本接着学会学術賞　など

伊福 伸介

京都大学生存圏研究所教授。2005 年京都大学農学研究科博士後期課程修了。2007 年 ブリティッシュコロンビア大学　博士研究員、2008 年～2023 年　鳥取大学大学院工学研究科　講師、准教授、教授、2016 年～2023 年　マリンナノファイバー 代表取締役社長、2024 年より現職。主な受賞歴：科学技術分野の文部科学大臣表彰 若手科学者賞、セルロース学会奨励賞、繊維学会論文賞ならびに技術賞、新化学技術推進協会研究奨励賞ならびに GSC 賞ベンチャー企業賞など、博士（農学）

岡久 陽子

京都工芸繊維大学繊維学系准教授・繊維科学センター副センター長。2007 年京都大学農学研究科博士後期課程修了、京都大学産官学連携センター研究員、日本学術振興会特別研究員 PD、日本学術振興会海外特別研究員、日本学術振興会特別研究員 RPD を経て、2016 年京都工芸繊維大学テニュアトラック助教、2021 年より現職。2020 年繊維学会奨励賞。竹材やその他の大型草本植物由来のセルロースナノファイバー材料研究に従事、近年ではセルロースナノファイバー製造手法をシルクへ応用したフィブロインナノファイバーの開発を実施している。博士（農学）

藤澤 秀次

東京大学大学院農学生命科学研究科准教授。平成 26 年 3 月東京大学大学院農学生命科学研究科生物材料科学専攻博士課程修了、博士(農学)学位取得。平成 26 年 4 月森林総合研究所学振特別研究員 PD、平成 27 年 4 月同研究所研究員、平成 30 年 2 月東京大学特任助教、平成 30 年 4 月同大学助教、令和 5 年 11 月同大学准教授。主な受賞に、平成 29 年日本木材学会奨励賞、令和 2 年日本農学進歩賞、令和 3 年セルロース学会奨励賞、令和 7 年度科学技術分野の文部科学大臣表彰若手科学者賞

古賀 大尚

大阪大学産業科学研究所准教授。2009 年九州大学大学院生物資源環境科学府博士後期課程修了。日本学術振興会特別研究員 PD を経て、2012 年大阪大学産業科学研究所特任助教、2018 年より現職。CNF のナノ/マイクロ構造体設計と電子機能開拓、および、エレクトロニクス・医療応用を精力的に実施。文部科学大臣表彰若手科学者賞、市村学術賞貢献賞、日本学術振興会賞、日本学士院学術奨励賞などを受賞。博士（農学）

榊原 圭太

（国研）産業技術総合研究所　機能化学研究部門　セルロース材料研究グループ　研究グループ長。2003 年京都大学農学部卒、2008 年同大学大学院農学研究科博士後期課程修了　博士（農学）取得。オーストリア BOKU、物材機構での博士研究員を経て、2011 年京都大学化学研究所助教。2020 年 4 月に産業技術総合研究所入所、2022 年 11 月より現職。専門はセルロース化学、木材化学、高分子材料設計化学。主な受賞歴に、2016 年繊維学会奨励賞、2019 年セルロース学会奨励賞など。

鬼頭 雅征

2000 年アラコ（現トヨタ紡織）入社。自動車シートへのマッサージ搭載（世界初）、初代燃料電池車 MIRAI のスタックマニフォールド樹脂化（世界初）など、多くの部品開発を牽引、世界に先駆け車両搭載してきた。2018 年クラウンに初搭載した高耐衝撃プラスチック（PP と PA11 のポリマーアロイ）では、ゼロから素材開発を進め、自動車技術会・技術開発賞、高分子学会賞、文部科学大臣表彰・科学技術賞などを受賞。現在、京都大学に常駐し、伊福教授、矢野特任教授と CNF の量産市販車への早期社会実装を目指し、共同研究中。

平野 貴章

富士市役所産業交流部産業政策課 CNF・産業戦略担当主幹。2003 年富士市役所に入庁。2016 年経済産業省紙業服飾品課（素材産業課革新素材室）に出向し、NEDO プロジェクトやナノセルロースフォーラム（現：ナノセルロースジャパン）等を担当。2018 年現所属に着任し、富士市における工業振興支援、新産業創出等に係る業務に従事。2024 年 NCJ 事業化推進分科会副分科会長に就任し、地域コンソーシアムや公設試験研究機関の連携の機会として、地域分科会会議等を担当。

尾下 優子

東京大学未来ビジョン研究センター特任講師。2013 年 3 月に九州大学大学院 経済学研究科 博士課程修了（博士（経済学））。神戸大学大学院海事科学研究科の助教、講師、東京大学未来ビジョン研究センターの特任研究員を歴任し、2021 年より同センターの特任講師を務めている。専門は環境経済学、産業連関分析、産業エコロジー、ライフサイクルアセスメント、サーキュラーエコノミーなどである。環太平洋産業連関学会優秀若手研究者賞（2012 年）、日本 LCA 学会優秀若手研究者賞（2024 年）、国際産業連関学会第 21 回国際産業連関会議ワシリー・W・レオンティーフ記念賞（2013 年）を受賞。

お問い合わせ先

ナノセルロースジャパン　ナノセルロース塾担当
E-mail　open-innovation@nanocellulosejapan.org